

Press Information

2005年2月3日
No.05-02

曙ブレーキ工業(株)中国蘇州で鋳入れ式を実施

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役社長：信元 久隆 本店：東京都中央区 本社：埼玉県羽生市）は、2月2日、昨年11月に設立した現地法人：曙光制動器（蘇州）有限公司[英語表記：Akebono Corporation (Suzhou)]の鋳入れ式を建設地である蘇州工業園區において実施いたしました。

式典にはakebonoグループ側から、社長の信元久隆、現地法人董事長の石垣吉広、ACNA[Akebono Corporation (North America)] COOのケビン J. アルダーが、また出資会社の伊藤忠商事株式会社からは井出健義執行役員が出席。蘇州工業園區側からは管理委員会責任者の馬 明竜主任など、関係者合わせて約70名が出席し、盛大にとりおこなわれました。

式典において、社長の信元は「立ち上がり当初から現地調達率50%以上を目指している。最初は日本向け補修品のパッドを立ち上げ、1年以内にOE向けパッドの生産を開始、2010年時点で年間1200万個のディスクブレーキパッド生産を目指したい」と挨拶しました。

「曙光制動器（蘇州）有限公司」は、制動装置の中でもっとも重要な摩擦材とその構成部品の開発、生産、販売、アフターサービスに関する事業を行い、中国でのディスクブレーキパッド生産を一手に引き受けます。また、広州に設立したドラムブレーキ、ディスクブレーキの生産拠点となる「広州曙光制動器有限公司」（8月生産開始予定）とのシナジーにより、ブレーキアッセンブリーの供給が可能となります。

「曙光制動器（蘇州）有限公司」は敷地面積：50,000㎡、建屋面積：13,300㎡で、2005年10月に完成、11月より稼動を開始する予定です。

【ご参考：曙光制動器（蘇州）有限公司概要】

| | |
|-------|--|
| 所在地 | 蘇州工業園區 |
| 董事長 | 石垣 吉広（曙ブレーキ工業(株)専務執行役員、中国事業準備室室長） |
| 出資比率 | 曙ブレーキ工業(株):45%、Akebono Corporation(North America):30% 伊藤忠商事(株):20%、Akebono Europe S.A.S.:5% |
| 設立年月日 | 2004年11月13日 |
| 敷地面積 | 50,000㎡ |
| 建屋面積 | 第1期 13,300㎡（工場棟：10,400㎡・事務棟：2,900㎡） |
| 資本金 | 9.1百万ドル |
| 投資額 | 2008年までに22.7百万ドルの投資を行う予定 |
| 生産品目 | ディスクブレーキパッド |
| 生産開始 | 2005年11月予定 |
| 従業員数 | 約50名 |